

キューガーデン
— — — — —

英国王室が 愛した花々

シャーロット王妃とボタニカルアート

2021年

7月16日(金)~8月29日(日)

9:30 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)

月曜休館 ※ただし8月9日(月・振休)開館、翌10日(火)休館

【観覧料】

一般：1,100円(1,000円) 大学生：800円(700円)

()内は前売および20名以上の団体

18歳以下無料

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、
戦傷病者手帳等をご持参の方とその介護の方は無料
※本展をご鑑賞の際は、常設展も無料でご覧いただけます

【主催】周南市美術博物館、毎日新聞社、tysテレビ山口
【後援】ブリティッシュ・カウンシル、山口県、山口県教育委員会
周南市・下松市・光市・田布施町および各教育委員会
【協力】日本航空 【企画協力】株式会社プレントラスト

周南市美術博物館

Shunan City Museum of Art and History
山口県周南市花畠町10-16 TEL(0834) 22-8880



<http://s-bunka.jp/bihaku/>

@Shunan_bihaku

@Shunan.bihaku

© The Board of Trustees of the Royal Botanic Gardens, Kew
Photo Brain Trust Inc.

キューガーデン 英国王室が愛した花々 シャーロット王妃とボタニカルアート

イギリスには世界遺産にもなっている世界最大級の王立植物園、キューガーデンがあります。そのはじめは、1759年に国王ジョージ3世の母親であるオーガスタ皇太子妃が始めた9エーカーの庭でした。そしてジョージ3世とシャーロット王妃の時代にはその規模を飛躍的に広げました。

キューガーデンは20万点を越えるボタニカルアートのコレクションを収蔵しています。ボタニカルアートは、薬草の研究に端を発し、植物を科学的な視点から描いたものですが、長い歴史の中で芸術性を見出され人々に親しまれるようになりました。

本展では、キューガーデンのコレクションを中心に18世紀から19世紀初めのボタニカルアート約100点を展示します。また、王妃に見出された王室御用達ウエッジウッド社の陶磁器「クイーンズウェア」や家具など約30点もあわせて展示します。世界に先駆け近代化の道を歩んだ英国を芸術的な側面から紹介します。



王妃が愛したウエッジウッド

ロバート・ジョン・ソントン編
『フローラの神殿』より



キューガーデン初代専属画家
フランツ・バウアー



女性画家たちの活躍



東洋の植物画

『カーティス・ボタニカル・マガジン』より

1. ラムゼイ・リチャード・ライナグル スワンブリー (ユリ科) 1799年 銅版、紙 / 2. フランツ・アンドレアス・バウアー ゴクラクチョウカ (ストレリチア・レギネ) (ゴクラクチョウ科) 1818年 石版、手彩色、紙 / 3. シャーロット王妃の肖像 1772年 / 4. ウエッジウッド 蓋付き皿 (クイーンズウェア) 1765-1770年頃 クリームウェア (陶器)、エナメル彩色 / 5. ダービー ボタニカル・サービスより ハナアオイ (アオイ科) 1795年頃 磁器 / 6. 逸名インド人画家 アカバスイレン (スイレン科) 1795年頃 水彩、紙 / 7. シデナム・ティースト・エドワーズ ボタンの栽培品種 (ボタン科) 1809年 銅版画、手彩色、紙 / 8. トマス・ハーヴェイ夫人 ローザ・ケンティフォリア (キャベツトローズ) とローザ・ガリカ (フレンチローズ) の栽培品種 (バラ科) 1800年 水彩、紙 / 9. シャーロット・オーガスタ・マテルダ バラ属の栽培品種 (バラ科) 1789年 インク、淡彩、紙 / 2,6,8,9はキュー王立植物園蔵 © The Board of Trustees of the Royal Botanic Gardens, Kew
その他は個人蔵 1,4は Photo Michael Whiteway 3,5,7は Photo Brain Trust Inc.

ご協力のお願い

当館では、みなさまに安心してご来館いただけるよう、新型コロナウイルス感染防止の対策を行っています。ご理解とご協力をお願いいたします。

体調不良、せき、発熱がある場合は、ご来館をお控えください。



マスクの着用をお願いします。



入館の際は、体温測定にご協力ください。37.5℃以上の方は入館をお断りさせていただきます。



入館時には緊急時連絡先のご記入をお願いします。

来館者が多い場合には入場制限をさせていただきます。

団体鑑賞はお受けできない場合があります。

新型コロナウイルスの感染状況により、中止・変更等の場合もあります。最新の情報は、当館ホームページにてご確認ください。

次回展覧会のご案内

自身への眼差し — 自画像展

2022年1/7 金—2/20 日

周南市美術博物館



交通案内

徒歩 ● JR徳山駅から約20分
車 ● 山陽自動車道徳山東ICから
国道2号線を下関方面へ
駐車場159台
(催し物により他施設と共用となることがあります。ご了承ください)

美術博物館の行き帰りに

ちより乗り
100円
バス
バス

おとな (中学生以上) 1乗車100円 (小学生以下無料)

4分 徳山駅 美術博物館 16分

土・日・祝のみ 9~17時まで20分おきに運行

- 徳山駅前発 毎時 [00 20 40]
(徳山駅からのご乗車は、駅北口の西側ローソン前の「8番のりば」をご利用ください。)
- 美術博物館前発 毎時 [16 36 56]
(パークアンドライド駐車場前)

周南市美術博物館

Shunan City Museum of Art and History
山口県周南市花島町10-16 TEL (0834) 22-8880



<http://s-bunka.jp/bihaku/>
@Shunan_bihaku
@Shunan.bihaku